



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月3日

上場会社名 株式会社 サンゲツ

上場取引所 東名

コード番号 8130 URL <https://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	38,261	1.1	1,283	10.8	1,653	17.8	1,179	29.0
2018年3月期第1四半期	37,864	16.3	1,158	43.3	1,404	38.8	914	49.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 76百万円 ( 80.0%) 2018年3月期第1四半期 380百万円 ( 71.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	18.59	18.55
2018年3月期第1四半期	13.73	13.71

(注) 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	164,155	102,717	62.0
2018年3月期	170,995	106,146	61.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 101,796百万円 2018年3月期 105,226百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		27.50		28.00	55.50
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		28.00		28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	79,000	4.6	2,000	17.5	2,300	18.0	1,600	11.6	25.07
通期	164,000	4.9	6,000	19.2	6,600	15.8	4,600	1.9	72.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	64,850,000 株	2018年3月期	66,050,000 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,773,612 株	2018年3月期	2,217,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	63,441,366 株	2018年3月期1Q	66,576,703 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2018年4月1日～6月30日)のわが国経済は、企業収支の改善に伴い設備投資や雇用が堅調に推移したことから、緩やかな回復基調となったものの、米国の通商政策の動向や金融資本市場の変動などが懸念材料となっており、先行きには依然留意する必要があります。

当社事業に関連の深い建設市場においては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた建築需要や、都市再開発案件の増加により拡大傾向となりましたが、住宅関連については、前年度まで好調であった賃貸用の新築住宅着工が減少したことなどから、総じて力強さを欠いた動きとなりました。

このような状況のもと、当社グループは2017年5月に発表した中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」の2年目を迎えました。当第1四半期においては、注力分野・地域により特化した営業組織体制を整備したほか、海外子会社を含むグループ連結経営体制の強化を推進するなど、持続的な成長に向けた施策を実行しました。また、「第2回 サンゲツ壁紙デザインアワード」の開催など、ブランド理念である“Joy of Design”を実現する活動にも継続して取り組みました。

当第1四半期の連結業績は、2017年12月に買収したGoodrich Global Holdings Pte. Ltd.の業績を新たに連結対象としたことにより、売上高と販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、売上高38,261百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益1,283百万円(同10.8%増)、経常利益1,653百万円(同17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,179百万円(同29.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (インテリア事業)

壁装事業では、非住宅における飲食・宿泊施設分野の好調を背景に、非住宅向けの不燃認定壁紙見本帳「FAITH」の売上が堅調に推移しました。また、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」と「ガラスフィルム」においては、4月に新設したフィルム事業部による商品特化型の営業活動が奏功し、売上に貢献しました。その一方で、住宅市場における低価格帯商品比率の増加などが影響し、壁装材の売上高は13,788百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

床材事業では、商業施設や賃貸住宅等において、床用塩ビタイルの売上が継続して堅調に推移しました。また、ホテル・宿泊施設の需要の高まりを受けたカーペットの納品も順調に進みました。その一方で、住宅市場やオフィス需要の伸び悩みが影響し、床材の売上高は10,184百万円(同0.3%減)となりました。

ファブリック事業では、住宅向けカーテン見本帳「STRINGS」が売上が牽引したほか、ワンプライスによる選びやすさを追求したカーテン見本帳「Simple Order」の市場への浸透が進み、好調に推移しました。また、2017年4月に設立したカーテン専門の販売会社「サンゲツヴォーヌ」において、新しく大阪に担当者を配置するなど事業体制の強化に努めました。この結果、カーテンと椅子生地を合わせたファブリックの売上高は2,001百万円(同9.2%増)となりました。

これらのほか、施工代などを含むその他の売上2,644百万円(同4.0%減)を加え、インテリア事業における売上高は28,618百万円(同1.3%減)、営業利益は1,162百万円(同9.0%減)となりました。

#### (エクステリア事業)

エクステリア市場では、ガーデンルームや人工木デッキといった、暮らしに新たな価値を提案する商品のほか、宅配問題に対応する宅配ボックスや防犯に繋がる門扉やエクステリア照明など、生活環境の向上に繋がる商品への注目が高まっています。このような環境下、エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、こうした商品の販売拡大に努めるとともに、営業

体制の整備と施工力強化を実行しました。その一方で、大型物件の減少や他社との競争激化が影響し、エクステリア事業における売上高は3,699百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は83百万円(同31.5%減)となりました。

(照明器具事業)

照明市場においては、商業施設やホテル新築・改修工事等の旺盛な需要が続いています。このような環境下、照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、重点戦略市場である非住宅市場の活況を背景に、サンゲツとの連携した情報共有と営業活動を継続し、事業シナジーの創出に努めました。しかしながら、新規メーカーの参入や低価格化など、競争が激しさを増し、照明事業における売上高は754百万円(前年同期比1.7%増)、営業損失は65百万円(前年同期は営業損失77百万円)となりました。

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の販路拡大に努め、ホテル物件などへの納品が進みました。中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、現地デベロッパーなど、より幅広い顧客への営業活動を展開し、壁紙や床材の採用が好調に推移しました。また、当第1四半期より業績の連結対象となったGoodrich Global Holdings Pte. Ltd.においては、サンゲツグループとのシナジー効果を高める仕組みづくりに努めました。この結果、海外事業の売上高は5,283百万円(前年同期比21.0%増)、営業損失は36百万円(前年同期は営業損失160百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べて6,839百万円減少し、164,155百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて3,429百万円減少して102,717百万円となり、自己資本比率は62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日発表のとおりで変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,482	22,255
受取手形及び売掛金	38,289	35,239
電子記録債権	11,516	12,501
有価証券	2,003	1,000
商品及び製品	13,996	14,919
仕掛品	215	204
原材料及び貯蔵品	2,750	2,460
その他	3,827	1,797
貸倒引当金	△461	△476
流動資産合計	94,621	89,903
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,360	19,360
その他(純額)	17,267	16,841
有形固定資産合計	36,627	36,202
無形固定資産		
のれん	6,624	5,394
商標権	5,980	5,622
その他	7,571	7,492
無形固定資産合計	20,177	18,510
投資その他の資産		
投資有価証券	11,662	12,538
繰延税金資産	3,742	3,435
その他	4,246	3,653
貸倒引当金	△82	△87
投資その他の資産合計	19,568	19,539
固定資産合計	76,373	74,251
資産合計	170,995	164,155

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,391	13,328
電子記録債務	9,690	8,537
短期借入金	547	1,306
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	963	384
賞与引当金	1,249	739
役員賞与引当金	25	7
製品保証引当金	753	720
資産除去債務	—	93
その他	6,155	5,344
流動負債合計	34,275	30,961
固定負債		
長期借入金	17,404	18,441
繰延税金負債	2,781	2,613
役員退職慰労引当金	109	111
退職給付に係る負債	7,724	7,579
資産除去債務	631	594
長期未払金	125	2
その他	1,796	1,133
固定負債合計	30,573	30,476
負債合計	64,848	61,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	73,967	70,828
自己株式	△4,577	△3,763
株主資本合計	103,012	100,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,768	2,690
繰延ヘッジ損益	100	98
為替換算調整勘定	828	△197
退職給付に係る調整累計額	△1,482	△1,482
その他の包括利益累計額合計	2,214	1,110
新株予約権	84	84
非支配株主持分	834	835
純資産合計	106,146	102,717
負債純資産合計	170,995	164,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	37,864	38,261
売上原価	26,411	26,258
売上総利益	11,452	12,003
販売費及び一般管理費	10,294	10,720
営業利益	1,158	1,283
営業外収益		
受取利息	6	12
受取配当金	61	64
持分法による投資利益	143	129
その他	59	191
営業外収益合計	271	398
営業外費用		
支払利息	13	20
自己株式取得費用	2	3
その他	10	3
営業外費用合計	26	27
経常利益	1,404	1,653
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	3	1
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	1,400	1,652
法人税、住民税及び事業税	376	325
法人税等調整額	110	146
法人税等合計	486	471
四半期純利益	914	1,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	914	1,179



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	914	1,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	△77
繰延ヘッジ損益	20	△1
為替換算調整勘定	△1,077	△1,018
退職給付に係る調整額	76	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△3
その他の包括利益合計	△533	△1,104
四半期包括利益	380	76
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380	104
非支配株主に係る包括利益	—	△28

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	28,940	3,814	741	4,366	—	37,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	57	—	—	—	△57	—
計	28,998	3,814	741	4,366	△57	37,864
セグメント利益又は損失(△)	1,277	121	△77	△160	△2	1,158

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	海外事業	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	28,524	3,699	754	5,283	—	38,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	94	—	—	—	△94	—
計	28,618	3,699	754	5,283	△94	38,261
セグメント利益又は損失(△)	1,162	83	△65	△36	139	1,283

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。